

もっと走る もっと運ぶ もっと稼ぐ

FUSO

2018
September/October
09.10

magazine No.65

より身近に! 先進安全技術





小回りの利く体制で 多業種・多品種の輸送に対応

埼玉県入間郡三芳町にある柿沼運輸株式会社は、
営業努力と対応の早さで成果をあげ躍進をしている物流会社だ。
あえて特定の貨物に偏らず、多種多様な貨物輸送に業態を変更したという、柿沼正一社長にお話を伺った。

柿沼運輸は、私の父である先代社長が元々材木会社を経営して、そこで扱う材木や建材を運ぶ会社として創立されました。私は18歳で柿沼運輸に入り2年間材木の輸送に関わった後、20歳から23歳まで材木会社で修業をしまして、24歳で再び柿沼運輸に戻りました。先代から社長の座を譲り受けたのは32歳のときで、今から17年前になります。私が社長になった当初は、柿沼運輸といえは材木といわれ、取引先も材木会社や建材関係が中心でした。しかし、私が社長に就任してからは、先を見据えながら経営方針を変えようと考え始めました。特定の品目だけでなく、幅広い品目を輸送する業態に切り替えようとして、いろいろな業種の貨物を開拓してきました。その結果、現在では食品から薬品、飲料、乾物、建設機械、イベントの物販商品、建築資材まで、あらゆるものを運んでいます。

営業範囲は地場を中心として関東甲信が8割。また、三芳町近隣にある工場からカーペットの原料を関西まで運ぶほか、北海道・九州方面への長距離輸送も行っています。

材木輸送から
多様な貨物輸送にシフト

—— 御社の業務の概要と輸送している貨物についてお教えてください。

C O N T E N T S



03 - Our Pride

柿沼運輸株式会社
代表取締役 柿沼 正一

06 特集1 より身近に! 先進安全技術

08 特集2 大規模災害に備えて 車の運転中、 災害が起きたら

10 - タイムマネジメント⑤

良き行動習慣が成果に直結
あなたも2週間だけ挑戦しませんか?

12 - Front's Eyes

メンテナンス不良による車両火災のご注意
エンジンオイルの日常点検を行いましょう

13 - 世界を駆けるFUSO 第11回

Challenge the impossible
タイで建設トラックモデル発表

14 - Trivia Column 第11回

缶詰のトリビア

15 - 地元イチバン Vol.5

「大阪ゆうたら、これやで!」

From Editors

FUSO
magazine No.65
2018 September/October



表紙Photo : CANTER 撮影用特別仕様車
©FUSO magazine 本誌掲載の記事、写真、イラスト等の無断複写、転載を禁じます



柿沼運輸株式会社
代表取締役 柿沼正一

というのです。住所を聞いたところ当社の近くでしたので、電話を受けて10分後には社員を打ち合わせに向かわせました。素早い対応が信頼され、今でも取引が続いています。その荷主さんから別の荷主さんも紹介されました。フレキシブルな対応と小回りが利くことが、当社の強みだと思っています。

ドライバーが働きやすい環境を整え、定着率を高める

——ドライバー不足は業界全体の悩みですが、人材確保はどのようにされていますか？

ドライバー確保には苦労しています。2年前ほど前に地元のFM局で、スポットCMを半年間流したことがあり、ドライバー募集の文言も入れました。反響はすぐには現れませんでした。後、後にハローワークに求人を出したところ、予想以上の反響がありました。CMで当社の知名度も上がったのかなと思います。取引先に行っても「ラジオCMやっているね」と、何度か言われました。CMを打つと同時に作り直したホームページも、ドライバー募集に一定の効果はありましたね。プロダクトは応募したいと思う人に、当社の雰囲気や少しでも分かってもらえたらと、アップしています。ドライバーは今、労働時間の管理などが厳しくなっています。荷主さんに時間短縮の協

力をお願いしたり、ドライバーをグループ分けしてシフトを組み労働時間の改善や、休日確保する体制作りをしたりしています。当社は事務員もドライバー同士も仲が良いですよ。会社全体で納涼祭をしたり、希望者で海水浴にも行ったりします。ドライバーの定着率も高い方だと思っています。私も月の半分は、ハンドルを握って運転しています。彼らのフォローにも回りますよ。ドライバーとしても、彼らの気持ちに分かりますので、基本的に自分が嫌なことはさせません。ドライバーそれぞれの、個性に合わせた仕事をしてもらえるように、常に考えています。

——三菱ふそうのお付き合いは長いと伺っていますが、いかがでしょうか？

私が入社した頃から、先代社長のところに三菱ふそうの営業マンがよく来ていたので馴染みがあります。自分が輸送に携わるようになってから、ずっと相談に乗ってもらっていた人が、今でも所沢支店にいるというのは心強いですね。ここ数年は、全ドライバーに向けて安全教育などの講習も、三菱ふそうにお願いしています。

また、昨年新型スーパーグレートも導入しました。ドライバーの評判も良く、皆満足して乗っていますよ。一度「マニュアル車に戻るか？」と聞いてみたところ、「いや、この車がいいです」と言っていましたからね。



小回りの利くフレキシブルな対応で、荷主の信用を得る

——新たな顧客はどのように開拓されたのですか？ また御社の強みは何でしょうか？

営業は私を中心に、食品メーカーや生鮮食品など、飛び込みでさまざまな会社に行きました。以前からイベント関連の貨物を輸送したいと考えていたので、関係しそうな会社にも営業をかけた。その会社はアーティスト関連のグッズを扱っており、コンサート会場で売るアーティストグッズなど、物販関係の貨物を依頼してもらえることになりました。もう7年ほど続いています。

イベント関連では、企業が催す運動会や納涼祭などに使う資材の輸送もしています。大手の建設機械レンタル会社が常備を探している、と知人に紹介してもらったこともありました。地道な営業と細かいニーズをすくいあげ、対応したからこそ、今があると考えています。また、そうしたニーズに応えられるように、車両も多種類を揃えました。

以前、土曜日の夜に、いきなり依頼の電話が来たことがあります。中国人の荷主さんで、月曜日に商品を横浜港まで運んで欲しい

柿沼運輸株式会社

埼玉県入間郡三芳町に本社と配車センターを構え、東松山市に営業所を持つ。駐車場には赤いカラーリングが目立つ車両、ユニック車、冷凍ウイング車、ウイング車、平ボディ、トレーラーなどがずらりと並ぶ。

埼玉県入間郡三芳町
代表取締役：柿沼正一
会社設立：昭和60年
社員数：125名
保有車両数：120台

<https://www.kakinuma-unyu.co.jp/>